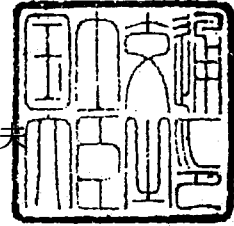


認 定 書

国住参建第 2279 号
令和 3 年 12 月 17 日

アイジー工業株式会社
代表取締役社長 高光 克典 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号及び同法施行令第 107 条第一号（柱：1 時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP060CN-0489-1
2. 認定をした構造方法等の名称
ロックウール板充てん鋼板／吹付けロックウール合成被覆／鋼管柱
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

ロックウール板充てん鋼板／吹付けロックウール合成被覆／鋼管柱

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
断面形状	角形、丸形
外装材と鋼管柱の間隔	250以下

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①荷重支持部材	柱： (1)～(11)のうち、いずれか一仕様とする (1)一般構造用角形鋼管 ・規格 JIS G 3466(STKR400, STKR490) (2)一般構造用炭素鋼鋼管 ・規格 JIS G 3444(STK400, STK490) (3)建築構造用炭素鋼鋼管 ・規格 JIS G 3475(STKN400, STKN490) (4)一般構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3101(SS400, SS490) (5)溶接構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3106(SM400, SM490, SM520) (6)建築構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3136(SN400, SN490) (7)溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 ・規格 JIS G 3114(SMA400, SMA490) (8)建築構造用冷間ロール成形角形鋼管(BCR295) ・規格 (社)日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0002 (9)建築構造用冷間プレス成形角形鋼管(BCP235, BCP325) ・規格 (社)日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0003 (10)建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管(BCP325T) ・規格 (社)日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0012 (11)表1～7に示す(1)～(7)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材 ただし、(8)～(11)は、建築基準法第37条第二号に適合するものに限る ・断面形状 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) □-300×300×9の断面寸法以上 2) φ-382×9の断面寸法以上 ・幅厚比 建設省告示第1792号第3第2号のイによる、 柱種別F Cに定められた数値以下 但し、表8～12に示した部材幅については、 表中に示した部材厚さ以上とする

(寸法単位: mm)

項 目	仕 様
外装材	ロックウール保温板充てん／両面鋼板表張／軽量鉄骨下地外壁 (国土交通省大臣認定番号：FP060NE-0162) ・厚さ 75 \pm 5以上 ・幅 600 \pm 10～1200 \pm 10(働き幅) ・外装材形状 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)タイプA (2)タイプB (別添-20参照) ・張方 縦張
②表面材	(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする (1)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322(材質) (2)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321(材質) (3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312(材質) (4)溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302(材質) (5)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3318(材質) (6)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317(材質) (7)塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通省大臣認定番号：NM-8697) ・厚さ 0.5以上 ・表面形状 平滑
③接着剤	[1]表面材又は裏面材と芯材の接着用 ・材質 ウレタン系樹脂 ・使用量 100g/m ² 以上600g/m ² 以下(片面) [2]芯材小口同士の接着用 ・材質 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)ウレタン系樹脂 ・使用量 1000g/m ² 以下 (2)ホットメルト系 ・使用量 600g/m ² 以下 (3)なし
④芯材	ロックウール保温板 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 74 \pm 3以上(但し、溝部を除く) ・密度 150 \pm 15kg/m ³ 以上

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
外 装 材	<p>⑤裏面材</p> <p>(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322(材質)</p> <p>(2)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321(材質)</p> <p>(3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312(材質)</p> <p>(4)溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302(材質)</p> <p>(5)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3318(材質)</p> <p>(6)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317(材質)</p> <p>(7)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通省大臣認定番号：NM-8697) ・厚さ 0.5以上 ・表面形状 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)平滑 2)エンボス</p>
	<p>⑥塗装</p> <p>[1]表面材用 (表面材が(1)、(3)、(5)、(7)の場合に限る) ・材質 JIS G 3322による合成樹脂塗料 ・表裏面合計有機質量 60g/m²以下</p> <p>[2]裏面材用 (裏面材が(1)、(3)、(5)、(7)の場合に限る) ・材質 JIS G 3322による合成樹脂塗料 ・表裏面合計有機質量 60g/m²以下</p>
	<p>⑦目地部充てん材</p> <p>[1]目地部充てん材1 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 15以上</p> <p>[2]目地部充てん材2 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様または併用とする</p> <p>(1)ロックウールフェルト+ポリウレタン系パッキン (1)-1ロックウールフェルト ・厚さ 4以上 ・幅 50以上 ・密度 190_{±19}kg/m³以上 (1)-2ポリウレタン系パッキン ・使用量 20g/m以下</p> <p>(2)セラミックファイバーブランケット ・厚さ 呼び厚さ6又はそれ以上 ・幅 50以上 ・密度 128_{±13}kg/m³以上</p> <p>(3)ロックウールフェルト ・厚さ 4以上 ・幅 50以上 ・密度 190_{±19}kg/m³以上</p>

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
外 装 材	<p>⑧シール材</p> <p>[1]シール材1</p> <p>(1)～(15)のうち、いずれか一仕様または併用とする</p> <p>(1)ポリウレタン系 (2)アクリル系 (3)アクリルウレタン系 (4)ポリサルファイド系 (5)変成ポリサルファイド系 (6)変成シリコーン系 (7)ポリイソブチレン系 (8)シリコーン系 (9)ポリエチレン系 (10)合成ゴム系 (11)EPDM系 (12)エチレン酢酸ビニル共重合体系 (13)ポリアミド系 (14)ポリオレフィン系</p> <p>・使用量 40g/m以下(有機質量40g/m以下)</p> <p>(15)なし</p> <p>[2]シール材2</p> <p>(1)～(10)のうち、いずれか一仕様または併用とする</p> <p>(1)アクリル系 (2)ゴムアス系 (3)ブチルゴム系 (4)ポリエチレン系 (5)合成ゴム系 (6)EPDM系 (7)エチレン酢酸ビニル共重合体系 (8)ポリアミド系 (9)ポリオレフィン系</p> <p>・使用量 35g/m以下(有機質量35g/m以下)</p> <p>(10)なし</p> <p>[3]シール材3</p> <p>(1)～(8)のうち、いずれか一仕様または併用とする</p> <p>(1)アクリル系 (2)ポリエチレン系 (3)合成ゴム系 (4)EPDM系 (5)エチレン酢酸ビニル共重合体系 (6)ポリアミド系 (7)ポリオレフィン系</p> <p>・使用量 4g/m以下(有機質量4g/m以下)</p> <p>(8)なし</p>

項 目	仕 様
外 装 材	<p>⑨胴縁</p> <p>(1)～(14)のうち、いずれか一仕様または併用とする</p> <p>(1)一般構造用軽量形鋼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3350(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(2)塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(3)溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(4)塗装溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(5)溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(6)塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(7)溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3317(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(8)塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通省大臣認定番号：NM-8697)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(9)一般構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101(材質) ・寸法 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
外装材 ⑨胴縁 (つづき)	<p>(10)溶接構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 3106(材質)・寸法 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(11)建築構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 3136(材質)・寸法 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする 1)C-100×50×20×1.6の断面寸法以上 2)□-100×50×1.6の断面寸法以上 3)Z-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(12)一般構造用角形鋼管</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 3466・寸法 □-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(13)一般構造用炭素鋼鋼管</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 3444・寸法 □-100×50×1.6の断面寸法以上 <p>(14)建築構造用炭素鋼管</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 3475・寸法 □-100×50×1.6の断面寸法以上 <ul style="list-style-type: none">・間隔 2000以下・断面二次モーメント $I_x : 58.4\text{cm}^4$以上 $I_y : 14.0\text{cm}^4$以上
⑩被覆材	<p>吹付けロックウール(国土交通省大臣認定番号：NM-8601)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚さ $30_{\pm 3}$以上・密度 $0.28_{\pm 0.03}\text{g}/\text{cm}^3$以上・組成(質量%)<ul style="list-style-type: none">{ ロックウール $60_{\pm 5}${ セメント $40_{\pm 5}$ <p>ロックウール：国土交通省大臣認定番号：NM-8600、JIS A 9504 セメント：ポルトランドセメント(JIS R 5210)又は高炉セメント(JIS R 5211)に適合するもの或いは白色セメント</p>

2) 副構成材料

(寸法単位: mm)

項 目	仕 様
①力骨	鉄筋コンクリート用棒鋼 ・規格 JIS G 3112 ・寸法 $\phi 9$ 以上 ・間隔 450以下
②ラス	メタルラス ・規格 JIS A 5505 ・種類 平ラス3号
③裏打材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ロックウール ・規格 JIS A 9504 (2)セラミックファイバーブランケット ・寸法 25×25以上 ・密度 80kg/m ³ 以上
④裏打材用留付け材	ドリリングタッピンねじ ・材質 鋼製 ・寸法 $\phi 3.5$ 以上×L35以上 ・間隔 500以下
⑤外装材用留付け材	[1]ドリリングタッピンねじ ・材質 鋼製 ・寸法 $\phi 5$ 以上×L85以上 [2]パッキン材 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)あり ・材質 エチレン酢酸ビニル系 ・寸法 $\phi 16 \times 4$ 以下 ・使用量 0.2g/個以下(有機質量0.2g/個以下) (2)なし

表1 (1)～(5)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0049	PBCP440
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL - 0051	SHC400, SHC490
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL - 0113	SHCK490
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL - 0127	SHC275, SHC355
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0153	G385
建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	MSTL - 0165	BSH325
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0176	NBCP325EX
建築構造用高降伏点冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0231	BCHT400
建築構造用高降伏点冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0241	BCHT400
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0286	SBCP385
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0298	SBCP440
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0301	NBCP385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0308	G385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0311	BCHT385
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0317	G440
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0322	BCHT385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0335	SBCP385
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0339	BCHT385
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0350	G385T
建築構造用590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0373	SBCP440
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0375	U365
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0376	U365
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「トウテツコラム TSC295」	MSTL - 0385	TSC295
建築構造用厚肉冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0401	JBCR295
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0423	BCHT325TF
建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	MSTL - 0438	BSH325

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表2 (1)～(5)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0446	BCHT385TF
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0447	BCHT385TF
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0450	UBCR295
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0455	BCHT385TF
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0456	BCHT325TF
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0458	BCHT385
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0465	UBCR295
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL - 0479	UBCR295
建築構造用550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管 SK コラム-SBCP385T	MSTL - 0489	SBCP385T
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム BCR295、JBCR295」	MSTL - 0495	JBCR295
建築構造用高性能550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0497	G385TF
建築構造用高性能490N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL - 0498	G325TF
建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR385」	MSTL - 0524	JBCR385
建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管「JFEコラム JBCR385」	MSTL - 0539	JBCR385

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表3 (1)～(5)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高溶接性高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 0122	BT-HT440-SP
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0128	HBL325, HBL355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0129	HBL325, HBL355
建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0130	HBL385
建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0131	HBL385
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0135	HBL325, HBL355
建築構造用高降伏点490N/mm ² 鋼材	MSTL - 0186	BT-HT400C
建築構造用高性能550N/mm ² 鋼材	MSTL - 0191	KCL A385
建築構造用550N/mm ² 級TMCP鋼材	MSTL - 0201	T-DAC385
建築構造用550N/mm ² 鋼材	MSTL - 0300	BT-HT385
建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0303	HBL385
建築構造用高性能590N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0306	HBL440
建築構造用550N/mm ² 級TMCP鋼材	MSTL - 0392	T-DAC385
建築構造用490MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0393	CK-HYS325
建築構造用520MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0409	CK-HYS355
建築構造用高性能590N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0410	HBL440
建築構造用550N/mm ² 鋼材	MSTL - 0413	BT-HT385
建築構造用高性能550N/mm ² 鋼材 (KCLA385B, KCLA385C)	MSTL - 0481	KCL A385
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9001	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9002	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9003	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9004	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9005	SA440
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9006	KCL A325, KCL A355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9010	T-DAC325, T-DAC355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9012	BT-HT325, BT-HT355

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表4 (1)～(5)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯ZAM（東予製造所）	MSTL - 0064	MSM-CK400, MSM-HK400
建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ（広畑製造所）	MSTL - 0069	NSDH400
建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ（君津製鐵所）	MSTL - 0070	NSDC400, NSDH400
建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ（広畑製造所）	MSTL - 0362	NSDC400
建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ（君津製鐵所）	MSTL - 0395	NSDH400
建築構造用冷間圧延溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯ZAM（市川製造所）	MSTL - 0523	MSM-CK400

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表5 (1)～(6)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 0053	KSAT325, KSAT355, KSAT440
円形鋼管	MSTL - 0137	P-385
円形鋼管	MSTL - 0138	P-385
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 0146	KSAT325, KSAT355, KSAT440
円形鋼管	MSTL - 0154	P-325, P-355, P-SM520, P-440
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 0192	KSAT385
建築構造用鋼管	MSTL - 0255	SA-T325, SA-T355, SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0256	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0257	SA-T325, SA-T355, SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0258	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0259	SA-T325, SA-T355, SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0260	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0261	SA-T325, SA-T355, SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0262	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL - 0263	SA-T325, SA-T355, SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL - 0264	SA-T440
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 9028	SA-T325, SA-T355, SA-T440
建築構造用高性能鋼管	MSTL - 9030	SA-T325, SA-T355, SA-T440
円形鋼管	MSTL - 9039	P-325, P-355, P-SM520, P-440
建築構造用太径丸鋼 NS-LRB400	MSTL - 0172	LRB400

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表6 (1)～(6)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高溶接性高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 0122	BT-HT440-SP
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0128	HBL325, HBL355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0129	HBL325, HBL355
建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0130	HBL385
建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0131	HBL385
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 0135	HBL325, HBL355
建築構造用高降伏点490N/mm ² 鋼材	MSTL - 0186	BT-HT400C
建築構造用高性能550N/mm ² 鋼材	MSTL - 0191	KCL A385
建築構造用550N/mm ² 級TMCP鋼材	MSTL - 0201	T-DAC385
建築構造用550N/mm ² 鋼材	MSTL - 0300	BT-HT385
建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0303	HBL385
建築構造用高性能590N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0306	HBL440
建築構造用550N/mm ² 級TMCP鋼材	MSTL - 0392	T-DAC385
建築構造用490MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0393	CK-HYS325
建築構造用520MPa級TMCP厚鋼板	MSTL - 0409	CK-HYS355
建築構造用高性能590N/mm ² TMCP鋼材	MSTL - 0410	HBL440
建築構造用550N/mm ² 鋼材	MSTL - 0413	BT-HT385
建築構造用高性能550N/mm ² 鋼材 (KCLA385B, KCLA385C)	MSTL - 0481	KCL A385
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9001	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9002	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9003	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9004	SA440
建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材	MSTL - 9005	SA440
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9006	KCL A325, KCL A355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9010	T-DAC325, T-DAC355
建築構造用TMCP鋼材	MSTL - 9012	BT-HT325, BT-HT355

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表7 (1)～(6)のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯ZAM (東予製造所)	MSTL - 0064	MSM-CK400, MSM-HK400
建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (広畑製造所)	MSTL - 0069	NSDH400
建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (君津製鐵所)	MSTL - 0070	NSDC400, NSDH400
建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (広畑製造所)	MSTL - 0362	NSDC400
建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ (君津製鐵所)	MSTL - 0395	NSDH400
建築構造用冷間圧延溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯ZAM (市川製造所)	MSTL - 0523	MSM-CK400

注) 同一記号におけるA種、B種、C種の区分を省略したもの

※：一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

表8 荷重支持部材の幅と厚さの関係（角形鋼管、部材幅300～570の場合）

鋼材基準強度		部材幅 (mm)	部材厚さ (mm)
235N/mm ² 以外		300	9.0以上
		310	9.1以上
		320	9.2以上
		330	9.3以上
		340	9.4以上
		350	9.6以上
		360	9.7以上
		370	9.8以上
		380	9.9以上
		390	10.0以上
		400	10.1以上
		410	10.2以上
	235N/mm ²		420
		430	10.4以上
		440	10.5以上
		450	10.6以上
		460	10.7以上
		470	10.8以上
		480	10.9以上
		490	11.0以上
		500	11.1以上
		510	11.2以上
		520	11.4以上
		530	11.5以上
		540	11.6以上
		550	11.7以上
		560	11.8以上
		570	11.9以上

注) 部材幅が表の中間の値の場合は、その間の部材厚さは厚い方の数値以上とする

表9 荷重支持部材の幅と厚さの関係（円形鋼管、部材幅382～750の場合）

鋼材基準強度		部材幅 (mm)	部材厚さ (mm)
235N/mm ²	235N/mm ² 以外	382	9.0以上
		390	9.1以上
		400	9.2以上
		410	9.2以上
		420	9.3以上
		430	9.3以上
		440	9.4以上
		450	9.5以上
		460	9.5以上
		470	9.6以上
		480	9.7以上
		490	9.8以上
		500	9.8以上
		510	9.9以上
		520	9.9以上
		530	10.0以上
		540	10.1以上
		550	10.1以上
		560	10.2以上
		570	10.2以上
		580	10.3以上
		590	10.3以上
		600	10.4以上
		610	10.4以上
		620	10.5以上
		630	10.6以上
		640	10.6以上
		650	10.7以上
		660	10.7以上
		670	10.8以上
680	10.8以上		
700	10.9以上		
710	11.0以上		
720	11.0以上		
730	11.1以上		
740	11.1以上		
750	11.2以上		

注) 部材幅が表の中間の値の場合は、その間の部材厚さは厚い方の数値以上とする

表10 荷重支持部材の幅と厚さの関係（円形鋼管、部材幅760～1100の場合）

鋼材基準強度		部材幅 (mm)	部材厚さ (mm)
235N/mm ² 以外		760	11.3以上
		770	11.3以上
		780	11.4以上
		790	11.4以上
		800	11.5以上
		810	11.6以上
		820	11.6以上
		830	11.7以上
		840	11.7以上
		850	11.8以上
		860	11.9以上
235N/mm ²		870	11.9以上
		880	12.0以上
		890	12.1以上
		900	12.1以上
		910	12.2以上
		920	12.3以上
		930	12.3以上
		940	12.4以上
		950	12.4以上
		960	12.5以上
		970	12.6以上
		980	12.6以上
		990	12.7以上
		1000	12.8以上
		1010	12.8以上
	1020	12.9以上	
	1030	13.0以上	
	1040	13.0以上	
	1050	13.1以上	
	1060	13.2以上	
	1070	13.2以上	
	1080	13.3以上	
	1090	13.4以上	
	1100	13.5以上	

注) 部材幅が表の中間の値の場合は、その間の部材厚さは厚い方の数値以上とする

表11 荷重支持部材の幅と厚さの関係 (円形鋼管、部材幅1110~1400の場合)

鋼材基準強度	部材幅 (mm)	部材厚さ (mm)
235N/mm ²	1110	13.5以上
	1120	13.6以上
	1130	13.7以上
	1140	13.7以上
	1150	13.8以上
	1160	13.9以上
	1170	13.9以上
	1180	14.0以上
	1190	14.1以上
	1200	14.2以上
	1210	14.2以上
	1220	14.3以上
	1230	14.4以上
	1240	14.4以上
	1250	14.5以上
	1260	14.6以上
	1270	14.7以上
	1280	14.7以上
	1290	14.7以上
	1300	14.7以上
	1310	14.7以上
	1320	14.7以上
	1330	14.7以上
	1340	14.7以上
	1350	14.7以上
	1360	14.7以上
1370	14.7以上	
1380	14.7以上	
1390	14.7以上	
1400	14.7以上	

注) 部材幅が表の中間の値の場合は、その間の部材厚さは厚い方の数値以上とする

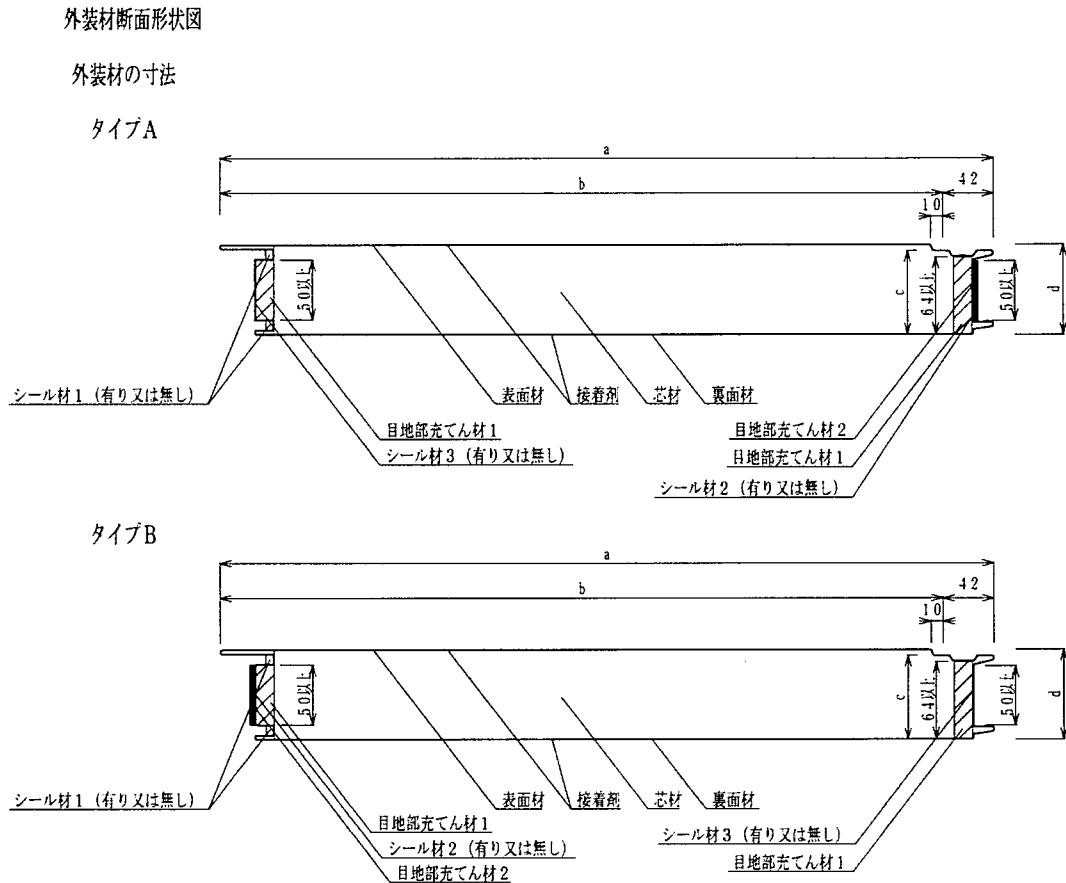
表12 荷重支持部材の幅と厚さの関係 (円形鋼管、部材幅1410~1470の場合)

鋼材基準強度	部材幅 (mm)	部材厚さ (mm)
235N/mm ²	1410	14.7以上
	1420	14.7以上
	1430	14.7以上
	1440	14.8以上
	1450	14.8以上
	1460	14.8以上
	1470	14.8以上

注) 部材幅が表の中間の値の場合は、その間の部材厚さは厚い方の数値以上とする

4. 構造説明図

(寸法単位: mm)



a: 【全幅】 (b + 42) 以上

b: 【働き幅】 600₋₁₀ 以上1200₋₁₀ 以下

c: 【断面欠損部最低厚さ】 70以上

d: 【厚さ】 75₋₅ 以上

断面欠損率 (%) : 0.11以下 (厚さ75比)

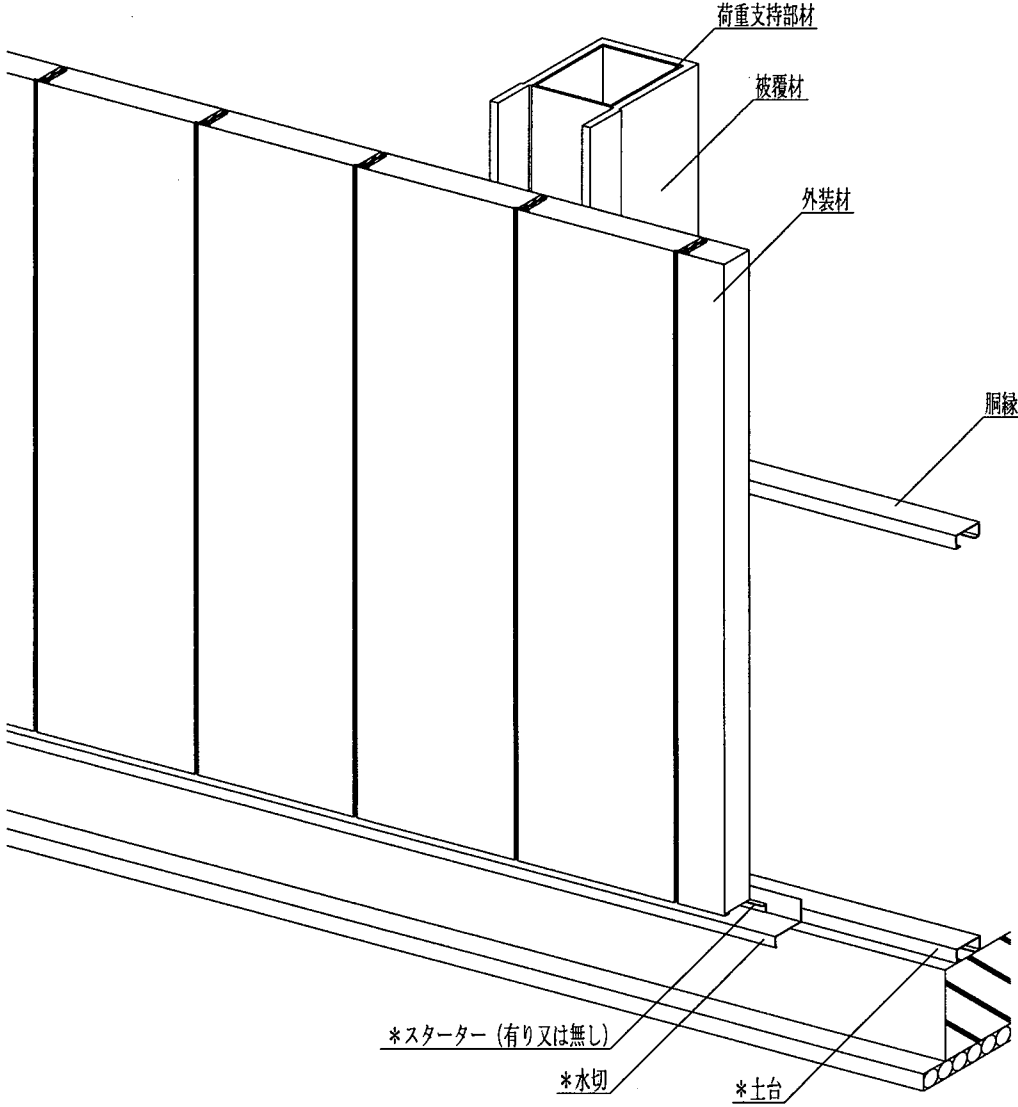
(断面欠損率の計算方法)

断面欠損率 (%) = 働き幅内における厚さ75以下の断面欠損部面積 / (75 × 働き幅) × 100

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(寸法単位：mm)

透視図

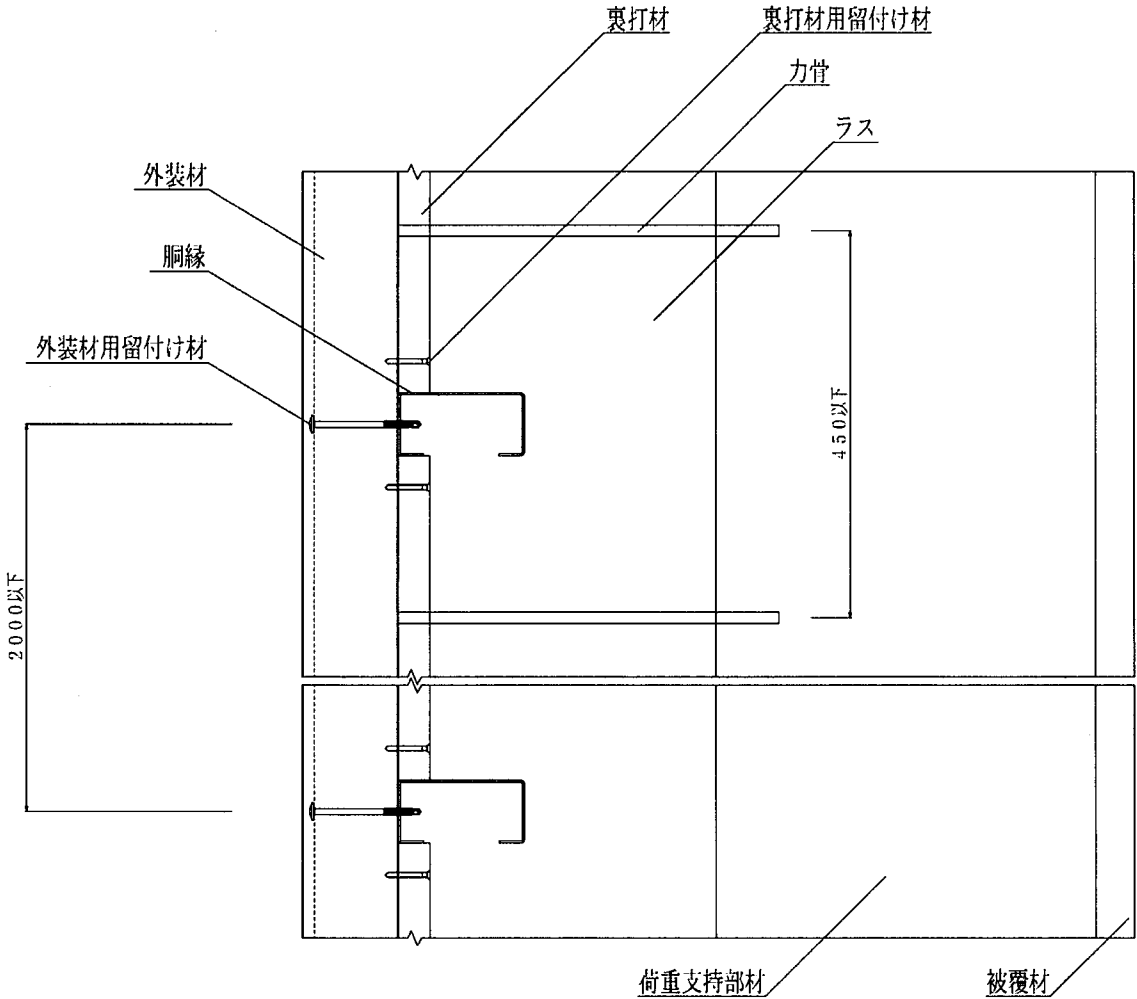


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*) 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

(1) 角形鋼管
鉛直断面詳細図

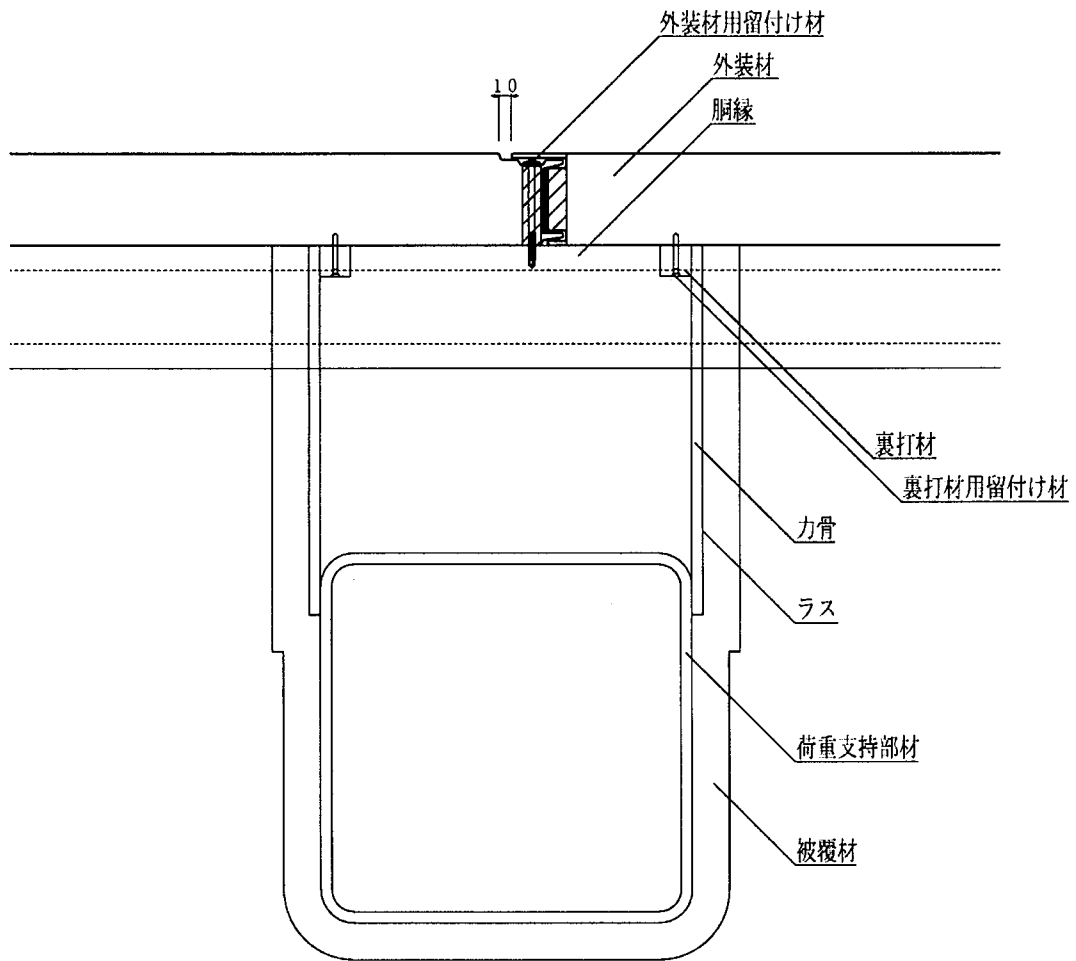


注) 寸法及び材料構成は2および3のとおり

(寸法単位：mm)

水平断面詳細図

屋外側

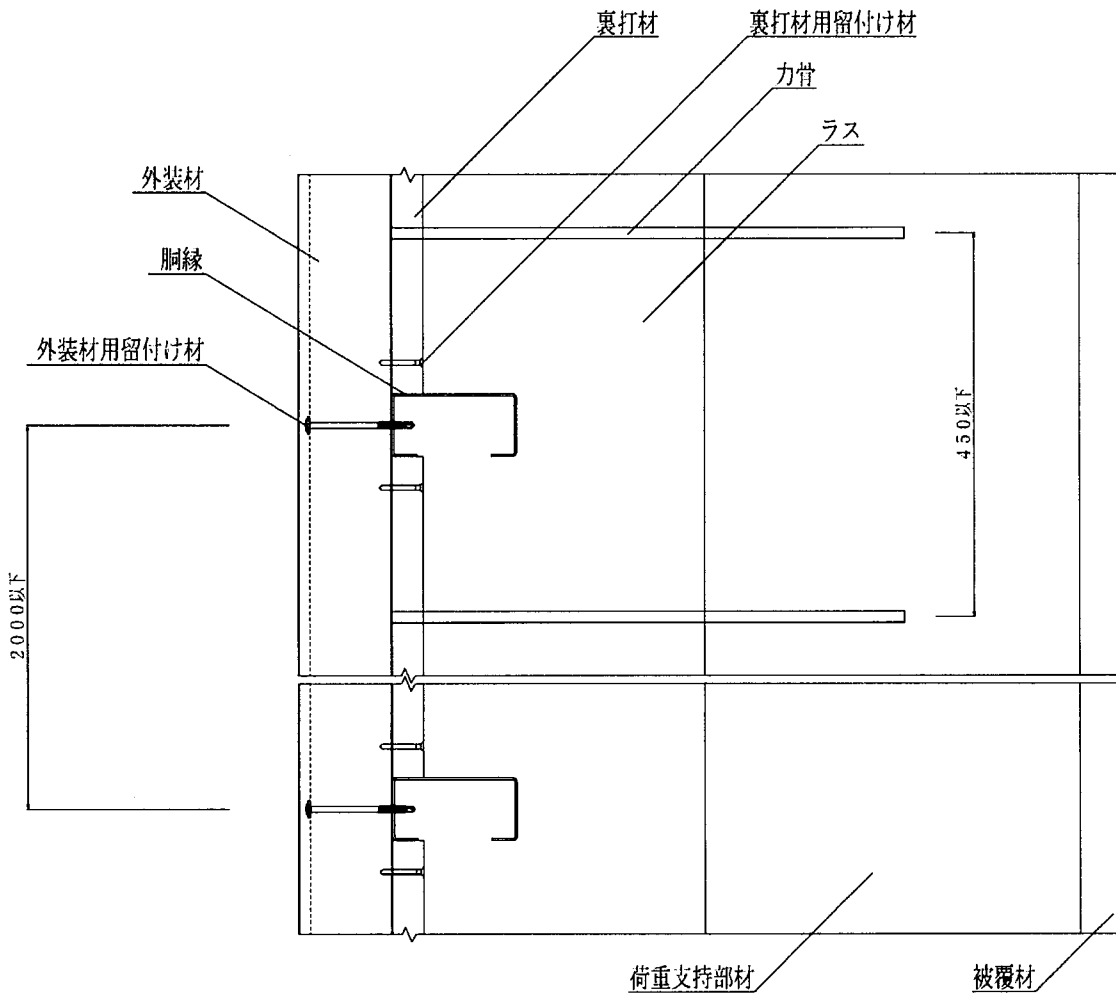


屋内側

注) 寸法及び材料構成は2および3のとおり

(寸法単位：mm)

(2) 丸形鋼管
鉛直断面詳細図

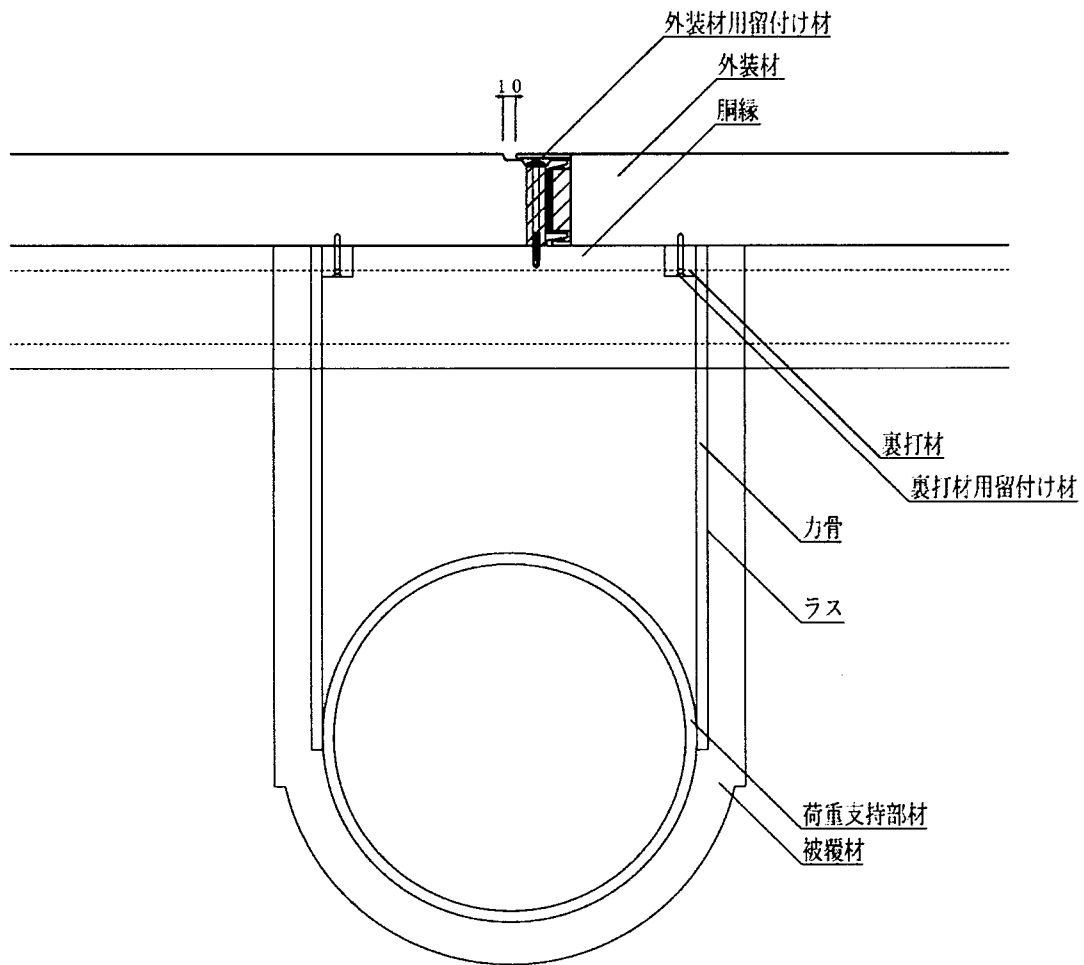


注) 寸法及び材料構成は2および3のとおり

(寸法単位：mm)

水平断面詳細図

屋外側



屋内側

注) 寸法及び材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

1) 外壁(ロックウール保温板充てん鋼板)の施工

国土交通省大臣認定番号：FP060NE-0162に従って施工する。

① 胴縁の施工

胴縁は2000mm以下の間隔で水平に配置し、構造躯体に取り付けた胴縁受け材に溶接又はボルト接合によって取り付ける。このとき構造躯体、受け材及び胴縁間の接合部は十分な強度を確保する。

② 下端部の水切・スターターの施工

下端部の水切・スターターを使用する場合は、壁面の下端となるところに土台と平行にリベット又はビス等を用いて留め付ける。

③ 外装材の施工

外装材は、外装材用留付け材を用いて胴縁に留め付ける。次に二枚目のメス部を一枚目のオス部に差し込み、二枚目のオス部を外装材用留付け材を用いて胴縁に留め付ける。三枚目以降順次繰り返して連続した壁面を形成する。(中間目地部は設けないものとする。)

2) 被覆材(吹付けロックウール)の施工

① 外装材と吹付けロックウールの取り合い部に、裏打材を裏打材用留付け材を用いて留め付ける。

② 外装材と鋼管柱の取り合い部に、力骨を溶接で取り付け、ラスを結束線にて取り付ける。

③ 『吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針・ロックウール工業会編』に従って施工する。